

JODA YEAR BOOK 2015



日本OP協会

小さな船に夢をのせて

日本オプティミストディンギー協会

理事長 田 中 令 江

さわやかな秋風が冷たい寒風に変わり、海に出るには厳しい季節が始まろうとしています。

皆様方には、日頃より日本オプティミストディンギー協会の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

本年も、このように Year Book を刊行することができました。全国各地で開催された大会は、日頃の練習の成果を発揮する場としてだけでなく、全国の同世代の選手達との交流の場としての役割も担っており、これも皆様方のご尽力のお陰と感謝しております。

1947 年に Clark Mills 氏によって誕生したオプティミストは、セーリングの入門艇としてシンプルで安全な船です。しかし、セーリング競技の中で唯一年齢制限があり、世界中で普及している（IODA 加盟は現在 124 カ国）このクラスは、入門艇としての役割と同時に、世界選手権や大陸選手権などの国際大会を通じて、世界中の子ども達に切磋琢磨できる場を提供し、多くのオリンピックセーラーを輩出するハイレベルの艇種でもあります。おどおどしながらオプティミストに乗りはじめた子が、数ヶ月の内に自由に操船できるようになり、一人前の選手になるのを見るにつけ、子供達の向上心とチャレンジ精神、可能性に驚き、そしてそのオプティミストの持つ不思議な魅力に改めて気づかれます。

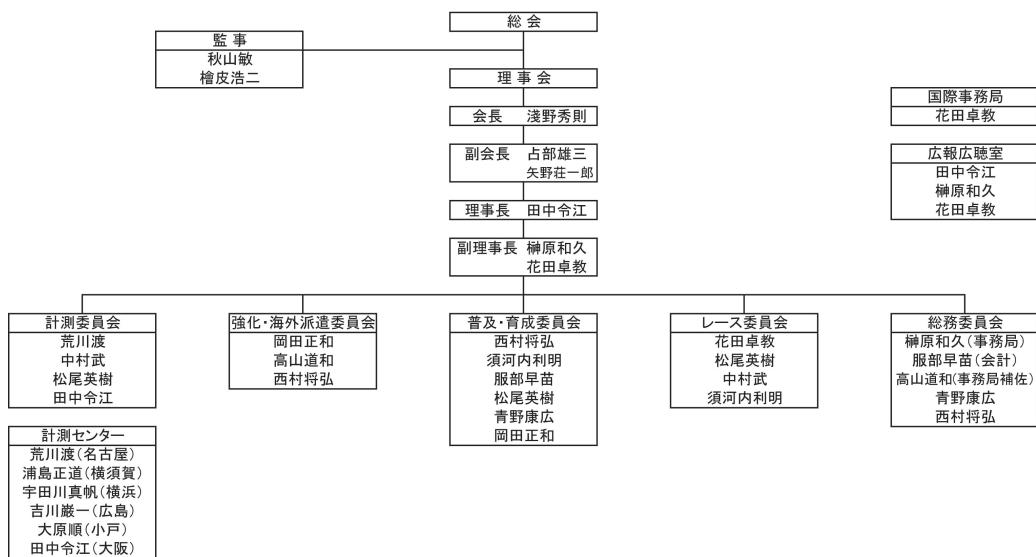
セーリングは、自然相手ですから、必ず結果が伴うとは限らず、思い通りにいかないことがたくさんあります。ですが、スポーツとしてのセーリングを通じて、目標をたて、それに向かって努力を積み重ねることの大切さや、失敗を受入れ次へ進むにはどうすればいいかを考える柔軟性を養い、技術だけでなく人間的にも成長していくほしいと考えています。

これからも、セーリングの楽しさを多くの子ども達に知ってもらい、夢や目標をもって楽しめるように取り組んで参りたいと存じます。

皆様方には、引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2015年(平成27年) 日本オプティミストディンギー協会 組織図



OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP 2015

: Dziwnow, Poland (ポーランド・ジブヌフ)

2015年8月25日～9月5日

監督：佐藤 麻衣子

2015年の世界選手権はポーランドの西側のジブヌフというところで行われました。

8月後半のジブヌフはかなり涼しく、朝晩で春夏秋冬を過ごすような、気温の変化もある日もありました。

ワールドの参加艇は270艇を超え、ヨーロッパで行われたこともあると思いますが、年々増加している気がします。

また他のクラスでは見たことのないナショナルレターもたくさん見て、やはりOPは世界で一番普及しているヨットだな、と実感しました。

大会は連日風が弱く、潮も強くてなかなかレースが進みませんでした。早々にレイディもレースすることになり、チームレースの日程も一日繰り下げて、フリートレースを行いました。

チームレースは1勝1敗で迎えたデンマーク戦、一進一退の攻防を繰り広げましたが惜しくも負けてしまい、予選敗退でした。

しかしながら、翌日の決勝の1日をゆっくり過ごすことができ、日本を出発しジブヌフに到着してからほとんどゆっくり休む時間がなかったので、予選の最終日に備え、いいお休みになった気がしました。

そして結局最終日まで風に恵まれないままレースは終わってしまい、結果としては抜井選手40位、玉山選手107位、服部選手150位、内貴選手217位、鈴木選手241位となりました。



マリーナ入り口で記念撮影

優勝はスロベニアのVerderber選手で、2位にダブルスコア以上の圧倒的な勝利でした。軽風シリーズだったので、体格は日本人選手と特段変わらず、40kg程度の比較的小柄な選手ですが、1マークを外しても必ずトップ10に上がってくる強さがありました。

今回の日本チームは海外レースの経験のある選手と初めての海外レースの選手と両方いましたが、全員が海外レースの混戦にのまれてしまった感じがあり、決して自分の力を出し切れたように見えませんでした。

日本チームの5人は全員来年のワールドも参加できるチャンスがあるので、ぜひこの経験をバネに来年のワールドで日の丸を表彰台にあげるべく、チャレンジしてもらいたいと思います。



二週間お世話になったコテージ



部屋の中でのミーティング



海上練習の様子1



海上練習の様子2



これから開会式パレード



チームレースの朝



270艇が出艇を待つ



宿舎での夕食

OPTIMIST EUROPEAN CHAMPIONSHIP 2015

: Pwllheli Sailing Club, Great Britain (イギリス・プスヘリ)

2015年7月17日～24日

監督：池田 晴紀

選手 JPN3288 Ryunosuke Sugasawa
 JPN3211 Kaito Ikeda
 JPN3226 Naoki Kurahashi
 JPN3334 Chizuru Hasu
 JPN3142 Kaede Kosuga

大会グレード：国際OP級での大陸選手権

参加 37カ国

参加 256艇（男子159艇、女子97艇）

我がヨーロッパチームは、今思いおこせば非常にチームワークに優れていたチームであったと思う。その証拠に、和歌山合宿ではチームの総合評価で優勝を果たした。また、江の島で行ったチーム合宿では、練習後BBQを行ったりもした。今思えば、良き思いである。

出発日当日、成田空港に全員が集合しオランダ航空にて、14時間のフライトの開始となった。オランダのオムステルダム空港をトランジットし、一路マンチャスター空港へ向かった。マンチャスター空港の到着ロビーには、なんと先日、ドラゴンのエンバラカップで入賞した、江の島ヨットクラブジュニアの青山部会長にお迎えをして頂きました。

空港からPwllheli(プスヘリ)へは、超大型バスでの移動となり、約2時間の移動です。道中は非常にのどかな景色の中、道路の両脇には、羊達が放牧されており、見渡す限り羊・羊・羊でした。長旅に疲れ切った選手たちは、窓の外の景色を見ることなく、本日の宿、“CROWNHOTEL”に到着。Pwllheliは、非常に小さな街ですが、歴史の面影が見え隠れする街でした。

翌日、チャーター艇の受け取りの為に、初めてハーバーに行き、大会本部より受け取り手続きを行い、帆装品の確認を行い、各選手が思うままに、持ち込んだ偽装品に、交換し少しでも、自分にフィットするようにチューニングを施しました。その後の、計測は順調に行われるかと思いましたが、予想に反して、龍佑、千鶴の艇の重量計測においては、軽すぎたため、200gの木片を装着することに(な

ぜ、2014のワールドに使われた艇なのに?)。また、龍佑、海人のセールナンバーの色が紫、オレンジの為、計測において、色に関して協議が行われましたが、その後無事に通過しました。見解としては、ジュリーが色を識別しナンバーが読める事が可能で有れば問題なしとのことでした。計測終了後、遅めの昼食をとり、ベルギーチームと初の海上練習をおこないました。風は安定した南風、4m/s～6m/sの安定した風が吹いていましたが、少々波があり、選手達は始め戸惑っていましたが、徐々に慣れたきた様子。

3日目は、大会受付を行い、海上練習の予定でしたが、朝から10m/s～15m/sの風が吹いており、急きよ海上練習を中止し、Pwllheliの街中を散策しました。建物から非常に歴史のある街並みを感じました。また、こちらは信号が非常に少なく（街中で2か所発見）ほとんどの交差点が、ラウンドアバウトになっており、歩行者はどのタイミングで渡っていいのか解らず、交差点で呆然としていました。

夕方から、選手村への移動があり、皆大量の荷物を持って、ハーバーから約20分程度車で移動した選手村に移動しました。敷地が非常に広大で、同じような建物が立ち並んでいます。部屋は非常に綺麗で、日本選手用に2部屋（2ベットルーム・リビング・キッチン・バストイレ付）用意して頂き、非常に快適な大会期間がおくられました。

4日目は、プラクティクスレースが、13時より行われました。7.5m/s 210度の安定した風が吹く中、4ディビジョンに分かれ、約250艇が海へと颯爽と出艇していきました。日本で行われる最大のOPレースは全日本であります、まさに全日本の倍以上の出艇数になります。その姿は圧巻でした。これから行われる、オープニングセレモニーに向けて、各選手は準備に余念が有りません。

18時から行われた、オープニングセレモニーにおいては、地元の子供たち方の合唱が行われ、会場から



割れんばかりの拍手が送られていました。その後の、BBQには総勢500人あまりの参加者に、ハンバーガーやサラダなど、多彩な食べ物が振る舞われました。

5日目、予選第1日目がスタートします。

風向 235° 風速 6m/s～max7.5m/sの安定した風が一日中吹きました。

10時より、コーチミーティングを行い、10時30分にB旗（ハーバーまで移動OK）が掲揚され、11時15分D旗掲揚にて、一斉に5ディビジョン、256選手が出艇していきます。本日のディビジョンは、Boys Blue リュウノスケ、Red ナオキ、カイト、Girls Blue チヅル、カエデとなりました、明日、以降は成績によって再度、組直しが実施されます。

予定通り、Boys Yellowが、11時55分にクラス旗が上がり、U旗が上がり、12時スタートと思いきや、ホンーンが2発なり、ゼネリコ。その後、ブラック採用で、何とかスタート。今回の第一レースにおいては、全ディビジョンにおいて、ゼネリコ→ブラックという結果になりました。その中でも、Boys Blueにおいてはブラックによるゼネリコ、が発生しました。

6日目、朝から小雨が降っていましたが、午前中は風も4m/s程度で、絶好のレース日和かと思いきや、D掲揚の11時には、8m/s～9m/sに吹き上りました。レースは、予定通りに、12時にGirls Yellowがスタートしましたが、そのころには、霧のため視界が悪化し、選手達は第1マークが見えないままスタートしていきました。10分後にGirls Blueのスタートを実施しましたがゼネリコに。さらに視界が悪化したため、一時AP旗を掲揚しましたが、結果的には、全ディビジョンノーレースとなりました。

選手村に戻った子供たちは、ベルギー選手と親睦を図るため、部屋に招待し、ゲームや会話を楽しんでいました。非常に有意義な時間を過ごせてたのは無いでしょうか？

7日目、予選最終日になります。予定では、3レースを予定しています。朝から、南西の風は、10m/s～13m/sが吹き続け、各選手たちの顔には、緊張感があらわれています。第4レースでナオキが、トップフィニッシュ、続く第5レースでは惜しくも2位フィニッシュ。第6レースの結果は、1位にてフィニッシュ。現在総合5位に続けています。トップとは、8点差、今日からの決勝レースの結果次第では？

リュウノスケも、本日はゴールドフリート入りをかけて、10番台前半で順位をまとめましたが、残念ながらシルバーフリートとなりました。

カイトは、初日の好調は続かず、PwIIheliの洗礼を十分に受け、明日からの、ブロンズフリートに全力をつぎ込みます。

チヅルは、調子を取り戻したかに思えましたが、第6レースでまさかの、「沈」により、シルバーフリートが決定しました。

カエデは、本日体調不良により、DNCになり、明日からは、シルバーフリートにて。

8日目は、決勝レース初日、3レースが行われました。風は西風 270° 5m/s～6m/sの安定した風が吹いてレースが行えるかと思いきや、第7レース Boys Bronze のスタート直後のAP旗、その後5回ほどAP旗を揚げスタートラインの調整を行いました。海面も風の振れが非常に大きく選手、運営を悩ませた様子でした。

9日目、ヨーロッパ選手権最終日となり、残りの5レースが実施されました。

本日の風は、風速3m/s～5m/s、風向210°の心地良い風が吹いていますが、こちらに来て感じた事は、日本で感じる、5m/sの風よりも、非常にパワフル(重たい)に感じる事。選手達に聞いても、実際にもっと吹いていると感じている様でした。

最後になりましたが、JODAの皆様、各選手地元チームの皆様このようないい機会を与えて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。今後、参加した5選手がいつまでも、ヨットを楽しいと思い続けて行けるように応援し続けて行きたいと思います。この中から未来のオリンピアが生まれる事を強く願います。

最終成績

倉橋直暉 ゴールドフリート 103点 5位

9-11-16-1-2-1-37-4-RAF-22

菅澤龍佑 シルバーフリート 139点 優勝

18-SPE-33-12-13-12-1-1-37-DPI=12

池田海人 ブロンズフリート 212点 5位

17-19-30-48-45-48-16-27-9-1

蓮千鶴 シルバーフリート 222点 17位

24-28-43-12-19-DNF-29-26-21-20

小菅楓 シルバーフリート 302点 32位

35-27-37-DNF-DNC-DNF-26-32-22-23



OPTIMIST NORTH AMERICAN CHAMPIONSHIP 2015

2015年7月5日～12日

：ENGLISH HARBOUR, ANTIGUA (アンティグア・イングリッシュハーバー)

監督：パーキンス・アンドリュー

訪米選手権参加4名はそれぞれ関東、関西、四国、九州のフリート所属選手。参加決定も選考会後日となり、和歌山でGWに行われたNT合宿は参加者及び同行者の初顔合わせにもなり、大変貴重な合宿でした。しかし、選手達が近隣在住でなく準備期間もあまりなく、合同練習等でのチームビルディングの機会が取れなかったのが残念であった。

7月3日金曜日に成田集合、NY経由（乗り継ぎの関係で1泊）でアンティグア・バブーダに7月4日に到着。同行者含め総勢10人全てナショナルチームとして初の海外遠征、初心者チームでの出発でした。

7月5日チャーター艇引き渡し後、大会期間中コチボートをシェアするカナダチームと合同練習をする事が出来た。

7月6日はプラクティスレース。日本チームが驚いた事に、スタート1分前のホーンと共に多くの艇がスタート。ところが選手、コーチ、運営もどこふくかぜ。後に事情を訊くと、北米選手権ではプラクティスレースではスタート1分前にスタートするのが伝統となっているとか。その上、殆どの艇がDNF.。これは、プラクティスレースでフィニッシュするのは不運につながるとの縁起担ぎ。このプラクティスレースはまさに運営が本番に備えて行った練習でした。

大会期間中は天気に恵まれ、安定した東からの貿易風が5～12メートルで入り、波の高さは1～2メートル。日本の選手達もよく頑張っておりましたが、このコンディション、どちらかというと海面のうねりに慣れた比較的体格の良い選手に向いている様でした。また、大会前半はサルガソ海より流れ着いた海藻が多く、選手達は常にセンターボードとラダーをチェックしておりました。

大会参加23カ国、選手162人、米国、チリ、ブラジル、アルゼンチン、シンガポール等の強豪国から多くの選手が参加しておりました（世界選手権大会と掛け持ち選手もおりました）。その一方、カリブ海の小さな島からの強豪選手も参加。カリブ海の島々の人々にとってセーリングは生活の一部。アンティグアまでクルーザーにOPを数艇積み込み参加する国もありました。彼らにしてみれば、わざわざ飛行機で乗り継いで来るより、よっぽど理にかなった方法であったのでしょう。また、アンティグア・バブーダでは、子供達は5歳から学校での授業の一環としてセーリングを学ぶのだそうです。そういう土地柄もあってか、北米選手権の優勝者は強豪国を破って、米国領ヴァージン諸島の選手、2位は地元アンティグアの選手。大選手団を引き連れて参加している米国、メキシコ、ブラジル、カナダなどに混ざって競技に挑んだ小さな国の選手達の活躍が目立った大会になりました。

北米参加国以外では、シンガポール、アルゼンチン、チリの選手達が活躍、特にシンガポールの参加5選手中3人がトップ10、5人目の選手も21位に入る好成績を納めました。

大会運営は半年前に大会開催が決まり、準備期間が限られていたにも関わらず、セーリングのメッカというだけに、全体的によくオーガナイズされました。地元ボランティアの活躍もよくみられました。ただ、時として‘アイランドタイム’というのんびりした雰囲気も漂っていました。

日本チームに直接関連したレース中の出来事として、選手の長谷川真大君が海上計測でブームバングの注意を受けた事でしょうか。今回はペナルティは課されず、警告のみでしたが、チーム全員が同じ様

なセッティングをしており、これをきっかけに、セッティングの見直しをしました。これは、北米参加チームだけでなく、日本の選手全員と指導者への注意事項として気に留めておく必要があるでしょう。

最後に、このセーリングに絶好の天候と美しい海、カリブ海のヨット文化、またアンティグアの歴史あるNelson's Dockyardというハーバー（18世紀に英国の歴史上有名なHoratio Nelson総督によって建設）で思い切りセイリングが出来た事は、選手達にとってすばらしい経験になった事と確信します。

Hana Perkins – JPN3125 シルバーフリート 7位
Mahiro Hasegawa – JPN3251 シルバーフリート 36位
Takuma Utsumi – JPN2976 ブロンズフリート 42位
Isshin Isobe – JPN3270 シルバーフリート 52位



● 2015年 JODAナショナルチーム最終選考会

2015年3月21日～24日 江の島ヨットハーバー

【OPクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
2	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
3	抜井 理紗	B & G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	7	女
4	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男
5	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
6	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
7	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	5	男
8	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	3226	8	男
9	嶋倉 照晃	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3110	5	男
10	村瀬 也海	広島セーリングスクール	3283	8	男
11	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	7	男
12	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	8	男
13	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	8	女
14	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	男
15	小菅 楓	広島セーリングスクール	3142	6	女
16	佐々木マールトン星和	B & G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	7	男
17	須田英実子	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3269	7	女
18	須河内陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	6	女
19	木田拳太郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	8	男
20	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	8	男
21	三浦 凪砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2877	8	女
22	磯辺 壱心	B & G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	男
23	長谷川真大	B&G高松海洋クラブ	3251	7	男
24	パーキンス 花	江の島ヨットクラブジュニア	3125	7	女
25	国見 有	葉山町セーリング協会	3168	7	男
26	安藤 龍海	江の島ヨットクラブジュニア	3162	8	男
27	谷口 美羽	江東区立小中学校セーリング部	3242	7	女
28	谷 望	千葉ヨットビルダースクラブジュニア	2891	8	男
29	中川 大成	海陽海洋クラブ	2987	7	男
30	大槻多恵美	B & G松山海洋クラブ	3281	6	女
31	林 玄	葉山町セーリング協会	3170	7	男
32	中川 晃	B&G新居浜海洋クラブ	3203	7	男
33	岡田 大治	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	8	男
34	上園田心太浪	B&G別府海洋クラブ	3032	5	男
35	石原 大地	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2962	8	男
36	坂井友里愛	江東区立小中学校セーリング部	3285	8	女
37	松尾 華	広島セーリングスクール	3119	8	女
38	尾道 葵音	B & G時津海洋クラブ	3256	7	女
39	遠藤 啓祥	葉山町セーリング協会	3302	7	男
40	草刈 励	江の島ヨットクラブジュニア	3262	8	男

閉会式ではナショナルチームの内定式が行われ、世界選手権代表選手5名、ヨーロッパ選手権代表選手4名、アジア選手権代表選手10名が内定いたしました。

それぞれの代表を目標に40名のOPセーラー達が熱く戦った4日間。まずは10レースを消化し、完全にレースをコントロールしていたレース委員会の運営の質が素晴らしいものでした。安全面についてと同時に競技者に対する公平性や様々なコンディションを通じて公平に代表選手を選考するという大会の性質も見事に捉え、選手や関係者にストレスを与えることなくスムーズに遂行できたことは高く評価されるべきだと思います。そして、真剣勝負で臨んでくれた選手の皆様も素晴らしい走りを見せてくださいました。

この戦いを勝ち抜いた選手たちが2015年のナショナルチームとして世界の海で戦います。

この4日間の経験を通じて、さらに素晴らしい走りを披露してくれることを期待します。



● 2014 第2回 がまごおり海と風レース

2014年9月21日 海陽ヨットハーバー

【ゴールドクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
2	鈴木亮太朗	静岡セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2859	6	男
3	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	3226	8	男
4	三浦 凪砂	静岡セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2877	8	女
5	藤木 海舟	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	9	男
6	豊島 有壮	光セーリングクラブ	2974	4	男
7	嶋倉 照晃	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3110	5	男
8	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	男
9	佐々木マールトン星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	7	男
10	泉 創	B&G新居浜海洋クラブ	3290	8	男

本大会のコンセプトは『どのようなレベルの選手も参加が可能』です。すなわちゴールド→上級、シルバー中級、ブロンズ→初級です。JODA の A クラス B クラスとの識別とは違っています。全日本への参加については現在中級者も全日本に参加していることからシルバークラスは全日本参加希望者として扱い、JSAF 及び JODA の会員資格を満たす事を出場する条件としています。したがってゴールドおよびシルバーを A クラスとして報告します。天候は風に恵まれず朝に風待ち時間があったので予定していた 5 レースを消化できず 4 回戦を実施しました。



● 2014 第28回 小沢吉太郎記念少年少女ヨットレース大会

2014年10月11日～12日 江の島ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	3226	8	男
2	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
3	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
4	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
5	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	5	男
6	鈴木せいら	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3177	9	女
7	藤本 謙	江の島ヨットクラブジュニア	3183	9	女
8	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
9	須河内陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	6	女
10	須河内 翔	藤沢市青少年セーリングクラブ	2614	9	男



江の島ヨットクラブジュニア50周年と重なる今大会は、OP級Aクラス及びBクラスに加えレーザー4.7級のレースも同海面で行われ、総エントリー数が81艇と盛大なレガッタとなった。レース開催予定日に台風19号が九州地方横断のニュースがあったころから開催自体が危ぶまれたが、関東地方への台風接近速度が落ちたこともあり、多少のうねりは見られたものの比較的安定した北よりの軽風の中、2日間のレースを安全に行なうことが出来た。OP級Aクラスの選手の大半は、3週間後に全日本選手権を控えていることから、各選手がそれぞれの目標を持ってレースに参加しており、運営・選手ともによい緊張感が感じられた。風況はレガッタ全体を通じて80度を風軸に小高い鎌倉の山から吹き降ろす±20度のシフティなブローが入り、初日は5～7m/s、2日目は2～4m/sと軽量選手に比較的有利な風域であった。2日目は時折2m/s以下となる場面もあったが、ノーレスやコース短縮することもなく最終レグを短めとし、予定していた6レース全てを消化することが出来た。全レースとも、しっかりとブロー周期と振れに合わせたコース取りが出来ている選手が上位を帆走しており、全日本選手権前のそれぞれの手ごたえや課題確認が出来たのではないかと思う。Bクラス選手にとっては、東日本選手権以来の複数日に渡るレースであり緊張や疲れもあったと思われるが、選手全員が笑顔で安全にセーリングを楽しんでいる姿が見られ来年以降がとても楽しみである。

● 第46回 全日本オプティミスト級セーリング選手権大会 兼 2015年度 JODAナショナルチーム第1次選考会 2014年10月31日～11月3日 広島観音ヨットハーバー

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	3226	8	男
2	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
3	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	7	男
4	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	7	女
5	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
6	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	男
7	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
8	三浦 颯砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2877	8	女
9	藤本 謙	江の島ヨットクラブジュニア	3183	9	女
10	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	8	男

	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
小学生優勝	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
女子優勝	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	7	女
小野杯	遠藤 啓祥	葉山町セーリング協会	3302	7	男
竹下杯	須河内陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	6	女
新人賞	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	8	男
新人賞	小菅 楓	広島セーリングスクール	3142	6	女



● 2014 琵琶湖ユースレガッタ秋季大会

2014年11月22日～23日 滋賀県柳ヶ崎ヨットハーバー

【OP級】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男
2	磯辺 壱心	兵庫ジュニアヨットクラブ	3270	5	男
3	藤原 光希	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	2805	7	男
4	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
5	上西理久哉	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3271	7	男
6	須田英実子	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3269	7	女
7	黒田 浩渡	兵庫ジュニアヨットクラブ	3025	5	男
8	須田 智也	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	2879	6	男
9	高山巧太郎	海陽海洋クラブ	3260	6	男
10	久保 晴也	宮津ジュニアヨットクラブ	2636	3	男

天候は良かったものの、2日間に渡りほぼ無風の状態が続きました。1日目は結局1レースも開催できず、2日目に何とか1レースを成立することが出来ました。選手にとっては不完全燃焼のレースとなったかもしれません。風待ちの時間中に混成チームでパドルレースを開催し親睦をはかりました。



2014/11/23

● 第10回坊ちゃんカップジュニア・ヨット大会

2014年11月29日～30日 マリンパーク新居浜

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	7	男
2	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	男
3	藤村 勇斗	B&G高松海洋クラブ	3275	6	男
4	豊島 有壮	個人会員	3030	4	男
5	長谷川真大	B&G高松海洋クラブ	3251	7	男
6	前田 月里	広島セーリングスクール	3143	4	女
7	大槻多恵美	B&G松山海洋クラブ	3281	6	女
8	中川 晃	B&G新居浜海洋クラブ	3203	7	男
9	藤村 拓斗	B&G高松海洋クラブ	3250	6	男
10	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	5	男

11月29日（土）は朝から雨でしたが、レースが行われる頃には雨も上がり、風も3～4m/sのコンディションでした。今回はトラベゾイドコースでレースを実施し、順調にレースが進行するかと思いましたが、2レース目が始まるころには、風がだんだんと落ち始め、みるみる選手たちが潮に流され、レース途中でノーレースになりました。そのまま初日終了となりました。11月30日（日）は朝から無風でしたが、昼前から2m/sの風が入りだし、2レース実施しました。振れる風と速い潮流の難しい海面に苦戦していましたが、結果は広島セーリングスクールの前田海陽選手が3連覇を成し遂げました。レセプションは、アダモちゃんやみきゃんも登場し、そして豪華景品もあり、大変盛り上りました。



● 2014年 秋風ヨットレース

2014年11月30日 江の島ヨットハーバーおよび沖海面

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	抜井 理紗	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	7	女
2	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
3	国見 有	葉山町セーリング協会	2992	7	男
4	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
5	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	5	男
6	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男
7	安藤 龍海	江の島ヨットクラブジュニア	3162	8	男
8	佐々木マト星和	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	7	男
9	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	8	男
10	鈴木 海翔	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3116	4	男

秋風ヨットレースは今年で3回目となります。関東近辺のクラブを中心に遠くからはB&G 兵庫ジュニアからもエントリーがあり、参加艇数、Aクラス56艇、Bクラス33艇、4.7クラス5艇となり、11月末とは思えないほどの温かい気温の中レースが開催されました。レース開始直後は1～2m/sと風が弱くタイムリミット内にゴールできない選手が相次ぎましたが、2レース目以降は3～5m/sの風となり3レースを実施することが出来ました。結果は、Aクラス優勝は遠来のB&G兵庫ジュニア海洋クラブの抜井理紗選手。Bクラスは藤沢市青少年セーリングクラブの増本晴選手が初優勝。4.7クラス優勝は千葉ヨットビルダーズジュニアの菅沼汐音選手でした。



● 2014 ジュニア・ユースクリスマスカップ

2014年12月20日～21日 江の島ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
2	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
3	安藤 龍海	江の島ヨットクラブジュニア	3162	8	男
4	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
5	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	5	男
6	嶋倉 照晃	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3110	5	男
7	岡田 大治	藤沢市青少年セーリングクラブ	3129	8	男
8	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
9	鈴木亮太朗	浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男
10	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	男

【Bクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	北原 頌子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2836	5	女
2	杉野 潮音	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	2864	4	男
3	佐藤 真心	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	2200	5	女
4	千葉歓汰朗	江の島ヨットクラブジュニア	26	3	男
5	遠藤海七希	藤沢市青少年セーリングクラブ	9	5	男
6	増本 晴	藤沢市青少年セーリングクラブ	2884	5	男
7	菅野 韶	夢の島ヨットクラブ	990	4	男
8	藤森 海斗	藤沢市青少年セーリングクラブ	3127	4	男
9	山本 育生	藤沢市青少年セーリングクラブ	3230		
10	増本 拓	藤沢市青少年セーリングクラブ	1	2	男

● 2015光ゴアテックスニューカラーレガッタ

2015年1月11日～12日 山口県スポーツ交流村 ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
2	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	男
3	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	7	男
4	石原 大地	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3043	8	男
5	豊島 有壮	techno293広島	3030	4	男
6	木田拳太郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	8	男
7	長谷川真大	B&G高松海洋クラブ	3251	7	男
8	松尾 華	広島セーリングスクール	3119	8	女
9	村瀬 也海	広島セーリングスクール	3283	8	男
10	須河内陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	6	女

【Bクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3189	3	男
2	向井真太郎	広島セーリングスクール	2570	4	男
3	繩田 拓琉	北九州ジュニアヨットクラブ	3185	3	男
4	西内 海斗	広島セーリングスクール	2942	5	男
5	大槻 千寿	B&G松山海洋クラブ	3135	4	女
6	北原 頌子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2836	4	女
7	岡田 斗陽	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3210	4	男
8	多賀 友波	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	2930	4	女
9	平木 遥	B&G松山海洋クラブ	2983	5	男
10	宮崎 七海	北九州ジュニアヨットクラブ	185	2	女

1月10日は、西の10kt～15ktの風、波高1mの状況で、午後からプラクティスレースを3レース行った。11日は20ktオーバーの強風で波高2m、午前中ダブルハンドクラスとOPAクラスでそれぞれ1レースを実施。午後はさらに風速が上がり30ktオーバー、OPAクラスのみ1レースを行った。12日は北寄りで振れ回る微風コンディションのなか、Bクラスは3レース、ダブルハンドクラスとOPAクラスは2レース行った。今大会レース委員長は中村健一氏、各参加クラブの父兄もレース運営に参加、JSAFレース委員会の岡村勝美氏もアドバイザーで参加し、レース運営のレベルアップと運営スキルの共有化ができたものと思う。また、日本ゴア株式会社をはじめスポンサー各社からレセプションの景品や選手全員に配られるビブス、参加賞などのサポート、舵社とバルクヘッドマガジンの密着取材もあり、参加選手だけでなく引率の父兄も楽しめる大会となった。



● 2014年度 強化合同レース 江の島ミッドウィンターレガッタ

2015年1月18日 江の島ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	服部 陸太	江ノ島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
2	池田 海人	江ノ島ヨットクラブジュニア	3211	5	男
3	菅澤 龍佑	江ノ島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
4	バーキンス 花	江ノ島ヨットクラブジュニア	3125	7	女
5	須河内 陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	6	女
6	岡田 大治	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	8	男
7	中島 優輝	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3246	6	男
8	蓮 千鶴	個人会員	3334	8	女
9	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男
10	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	男



1月18日、江の島沖海面でOP級のミッドウィンターレガッタが開催されました。雪化粧した富士山が冬の青空に映えてとても絵になる海面なのですが、最近の江の島は休日になると風が吹きません。この日も運営と選手を悩ませる微風コンディションでのレースとなりました。

今年の江の島はOP級に選手にとって、とても大きな注目の海面になっています。まずは、3月に2015年のOP級ナショナルチームを決定するNT2次選考会が、そして11月には全日本選手権を予定されています。このため、今回のミッドウィンターレガッタでも海面の下見も兼ねて遠方からの参加があり、OP級AクラスBクラス併せて60艇を超える海上はとても賑わっていました。開会式・スキッパーズミーティングが終わり、ほぼ予定時刻通りD旗が掲揚され出艇しましたが、北東～東の風が安定せずどんどん落ちていくため、AP+Hが掲揚され一旦ハーバーバックとなりました。

その後、風は南に回り3～4m/sの安定したブローが入っていたためようやくスタートができました。がその後、Aクラスの艇団が下マークを回ることには2m/s前後とだいぶ落ちてしまい、Aクラスのトップ艇団がフニッシュするころには更に落ちて風も振れDNFとなってしまった選手が多数出てしまいました。一方、BクラスはS旗を掲揚し下マークフィニッシュとしたため、全員無事にフィニッシュすることが出来ました。

その後も風は安定せず、風が上がる気配も無いことからAP+Aが掲揚され、残念ながら1レース消化で本レガッタが終了しました。



● 2015年 九州ウインターフィッシュинг選手権大会

2015年2月8日 鹿児島市平川ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	上園田心太浪	B&G別府海洋クラブ	3032	5	男
2	石原 大地	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2962	8	男
3	木田拳太郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	8	男
4	河野 瑞平	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3023	6	男
5	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	8	男
6	坂田純一朗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3042	7	男
7	川畠慈英太	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3232	7	男
8	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	5	男
9	坂田紘士朗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3043	7	男
10	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	5	男

● 第28回和歌山コールドカップ

2015年2月7日～8日 和歌山セーリングセンター

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
2	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	7	男
3	小菅 楓	広島セーリングスクール	3142	6	女
4	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	男
5	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	7	女
6	須田英実子	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3269	7	女
7	大槻多恵美	B&G松山海洋クラブ	3281	6	女
8	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	5	男
9	小林 奏	宮津ジュニアヨットクラブ	3166	7	女
10	泉 創	B&G新居浜海洋クラブ	3290	8	男

大会初日 比較的穏やかで気温も高め、ただ風が吹きそうではない雰囲気の中大会が始まりました。風待ちの後、3レースを実施しました。大会2日目 深夜に強風が吹いていましたが、朝から風が吹いていません。風待ちの後、東の風でスタートしたものの振れてN旗掲揚、その後西に風が振り、吹き上がる見込みだったためBクラスはハーバーバックとしAクラスのみ最終レースを行いました。



● 第14回 夢の島レガッタ

2015年2月15日 若洲ヨット訓練所

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	坂井友里愛	江東区立小中学校セーリング部	3285	8	女
2	中島 優輝	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3246	6	男
3	三浦 帆香	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	3155	5	女
4	中島 優香	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3220	5	女
5	望月翔太郎	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	3154	4	男
6	バジエ・マキシム	夢の島ヨットクラブ	1489	13	
7	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	4	男



Aクラス7艇 Bクラス13艇というこじんまりとした大会となりました。バレンタインカップとの併催で、レーザー4.7と420クラスも同一のマークを使用するため、艇数は総数35艇と多かったです。

当日は昼ごろから風が上がることが予想され、Bクラスは早めに逃がす心づもりで出艇しました。また、レース海面も当初予定よりも葛西より【三枚洲内】で設定されました。

350度の風軸で10時10分のAクラススタート時に5～6m位の風でしたがフィニッシュ時（10時38分）には10mを越えており、タイムリミット後（10時48分）のDNF艇をスタートエリアへ戻す間にブローで、15mまで上がってきました。レース委員長はA、B同時スタートも考えておられましたが、結局安全のため11時20分ごろAP-Hを掲揚、ハーバーバックとなりました。

帰着後12時13分AP-Aを掲揚し、1レースのみの成立となり終了しました。



● 2015年 冬風ヨットレース

2015年2月22日 江の島ヨットハーバーおよび沖海面

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	5	男
2	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	8	男
3	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
4	佐々木マルトン星和	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	7	男
5	国見 有	葉山町セーリング協会	3168	7	男
6	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
7	谷口 美羽	江東区立小中学校セーリング部	3242	7	女
8	岡田 大治	藤沢市青少年セーリングクラブ	3129	8	男
9	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	8	女
10	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男



今年の冬風ヨットレースは、3月に江の島で開催されるOP級のNT選考会を意識し、Aクラスの選手にとっては、選考会と同じレースを提供する、またBクラスについては、「楽しく優しく」をコンセプトに開催いたしました。結果として関東近辺のクラブを中心に遠くからはB&G兵庫ジュニアからもエントリーがあり、参加艇数、Aクラス57艇、Bクラス25艇が参集する大会となりました。

レースの前日のプラクティスレースでは、ノースセールの”スナイプ番長”白石潤一郎氏を招き、翌日のレースと同条件のプラクティスレースを実施し、スタートやコースに関して、ビデオを活用したクリニックを実施しました。翌日の冬風レースは、当初の予報では、風速13m越えのサバイバルレースとなる想定で、運営も身構えていましたが、朝から5m程度の風に恵まれ、第1レースは上マークまで900m、第2レースは、1000mと好条件のなかでAクラスのレースを実施しました。また、Bクラスのレースについても、テンポを速めて実施し、お昼までに4レースを実施できました。その後、風が落ち選手を一時ハーバーにバックさせ風を待ったところ、北の風がはいり、レースの終了時刻ギリギリにAクラスのみスタートしたものの、風が落ちたため第3レースはノーレースとなりました。結果として、振れる風を的確につかんだ江の島ヨットクラブジュニアの池田海人選手がAクラス優勝、Bクラスは、しっかりと艇を走らせて藤沢市青少年セーリングクラブの遠藤海七希選手が優勝となりました。

● 2014年度 強化合同レース 江の島アーリースプリングレガッタ

2015年3月8日 江の島ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	3226	8	男
2	三浦 凪砂	静岡県セーリング連盟 浜名湖ジュニアクラブ	2877	8	女
3	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
4	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟 浜名湖ジュニアクラブ	3294	6	男
5	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	8	女
6	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	7	男
7	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	男
8	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	8	男
9	岡田 大治	藤沢市青少年セーリングクラブ	3129	8	男
10	谷 望	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	2891	8	男



冬のシーズン、身体の大きな中学生達は江の島沖に吹付ける北風をずっと待っていたのですが、レース当日になるとなかなか良い風が吹かずストレスが溜まるレースばかりでした。そんな中、コンスタントに10m/sオーバーの北風が吹きつける海面をAクラス上位の選手はどんなに待ちわびていたことでしょう。3月8日に行われたアーリースプリングレガッタは、久々に強風海面でのレースとなりました。最大16m/sに達する早春の江の島沖の風はまだまだ寒く、沈に身体を震わせリタイヤしてしまう小学生選手も多数いました。疲れの出てくる最終レースでフィニッシュ出来たのはたった13艇で、しかもNT2次選考会への出場権を持った選手だけでした。上位の選手にとってはとてもよい力試しとなるレースで、これからのレースでの課題がはっきりと見えてきたレースだったようです。上位選手との差が開き力の差を見せ付けられた選手も多かったことでしょう。4レースを終えリタイヤやDNFが大量発生しましたが、事故もなく安全にレースが行われたのは各クラブサポートのおかげでした。ありがとうございます。

なお、Bクラスは2時間の陸上待機後、強いガストが入っていたことから選手の安全に配慮し中止としました。

● 第23回 YMFSセーリング・チャレンジカップIN浜名湖

2015年3月27日～29日 静岡県立三ヶ日青年の家

【OPクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	坂井友里愛	江東区立小中学校セーリング部	3285	8	女
2	三浦 凪砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2877	8	女
3	谷口 美羽	江東区立小中学校セーリング部	3242	7	女
4	小林 奏	宮津ジュニアヨットクラブ	3166	7	女
5	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	4	男
6	中川 大成	海陽海洋クラブ	2987	7	男
7	中川 和歩	B&G高松海洋クラブ	3252	7	男
8	泉 創	B&G新居浜海洋クラブ	3290	8	男
9	若林 幸輝	三重県ヨット連盟ジュニアユースヨットクラブ	3323	7	男
10	青木 武斗	横浜市民ヨットハーバーJYC	2887	7	男

大会期間中は、6～8m/secのコンディションで6レースを実施する。最終日は風が無くノーレースとなるが、選手にとっては、実力を出せたレース内容であった。上位は女子セイラーが独占し、男子の奮起を期待したい。

コースは、トラベゾイドコースを設定。レース後の勉強会を含め、全国から集う各クラブとの交流もできた。



● 2015 兵庫ジュニアオープン選手権

2015年4月11日～12日 兵庫県立海洋体育館

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	8	女
2	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	7	男
3	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	8	男
4	佐々木マールトン星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
5	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	6	男
6	小林 奏	宮津ジュニアヨットクラブ	3166	8	女
7	黒田 浩渡	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3025	6	男
8	須田英実子	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3269	8	女
9	上西理久哉	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3271	8	男
10	中川 大成	海陽海洋クラブ	2987	8	男

今年はAクラス、Bクラスのフリートに分けて2日間で6レースを行いました。Aクラス27艇、Bクラス16艇の参加でした。初日は5m/s～7m/sの北風が吹き寒い一日となりA、Bクラスとも4レースを実施。2日目は午前中に2レースを実施しましたが、天気が良くなるにつれ風が無くなりAP/H。Aクラス優勝は6レース中5レースをトップフィニッシュした兵庫ジュニアの抜井理紗選手。Bクラス優勝は琵琶湖ジュニアの藤原沙耶選手。運営のご協力を頂きました皆さまありがとうございました。



● 2015 UTO CUP 第16回くまもと未来国体記念ジュニアヨット大会

2015年4月11日～12日 熊本県宇土市 宇土マリーナ

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	9	男
2	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	9	男
3	木田拳太郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	9	男
4	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	6	男
5	上園田心太浪	B&G別府海洋クラブ	3032	6	男
6	豊島 有壮	広島ベイディングクラブ	3030	5	男
7	河野 瑠平	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3023	7	男
8	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	6	女
9	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	6	男
10	濱田 登羽	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	6	男



【Bクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3189	4	男
2	岡田 斗陽	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3210	5	男
3	阿南 影綱	熊本ジュニアヨットクラブ	8788	5	男
4	繩田 拓琉	北九州ジュニアヨットクラブ	3185	4	男
5	小窪 健斗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2784	5	男
6	石原 千海	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3043	5	男
7	久保田涼花	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3336	5	女
8	木田丞志郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	0	5	男
9	福井 創太	熊本ジュニアヨットクラブ	2789	7	男
10	吉村 元	熊本ジュニアヨットクラブ	2787	6	男



● 2015年第14回ノルウェーフレンドシップヨットレース

2015年4月18日～19日 江の島ヨットハーバー

【OPクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	8	男
2	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	7	9	男
3	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	9	男
4	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	9	女
5	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	7	男
6	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	6	男
7	岡田 大治	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	9	男
8	バーキンス 花	江の島ヨットクラブジュニア	3125	8	女
9	須河内陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	7	女
10	谷口 美羽	江東区立小中学校セーリング部	3242	8	女



第14回を迎えるノルウェーフレンドシップヨットレースは、ノルウェーと日本の2国間の友好の思いを込め、今年もディンギー部門、クルーザー部門、OP部門の3部門で実施されました。初日は南風で、夕方には15m/s超えとなる予報も出たため、少しでも早くレース運営を行うことを心がけました。

Bクラスは1レース目後半には平均7～8m/sとあり、安全な帆走に支障で出たきたためAP/A旗掲揚にて本日のレースを終了させることとしました。1日目の3レース目にはコンスタントに10m/sを超える波も高くなり、Aクラスでも十分に帆走できない選手が出てきました。上位はNT選手が大半を占ましたが3月の選考会後ということもあり、白熱したレース展開となりました。2日目はうつって変わって微風となり、気温が上がりシーブリーズが入るのを待ち、何とか2m/sを超えたところでレースを開始。忍耐のレースとなり何とか1レースのみを行ないシリーズを終了しました。レース後のパーティーではクルーザーとディンギー部門の大人の選手も一緒に盛り上がり、おいしい料理や素敵な音楽を楽しみながらの会となりました。

● 2015 スプリングジュニアカップ

2015年4月20日 海陽ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	間宮 誓雪	なごやジュニアヨットクラブ	2499	1	女
2	間宮 遠晴	なごやジュニアヨットクラブ	3260	4	男
3	関谷 圭弘	なごやジュニアヨットクラブ	3258	7	男
4	白木 信之	なごやジュニアヨットクラブ	2498	8	男
5	白木 勝之	なごやジュニアヨットクラブ	2628	9	男
6	富田 堅心	なごやジュニアヨットクラブ	2868	9	男
7	山田 冬聖	海陽海洋クラブ	2944	7	女
8	中川 大成	海陽海洋クラブ	2987	8	男
9	山田 大夢	海陽海洋クラブ	3171	8	男
10	小林 奏	宮津ジュニアヨットクラブ	3166	8	女

4/20(日)は、無風の状態で、残念ながらノーレースとなつた(午前に、1回出艇したが、陸待ちの状態で、無風であったためレースができない状況であった)。

4/19(土)は、プラクティスレースとして、午後2レースを行つた。



● 第60回 関東水域OP連絡会OP級オープンヨットレース大会

2015年4月29日 葉山新港

【ゴールドフリート】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	6	男
2	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	7	男
3	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	8	男
4	山田 真理歩	YMFSジュニアヨットスクール葉山	3296	6	男
5	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	9	男
6	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	5	男
7	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	9	女
8	谷口 美羽	江東区小中学校セーリング部	3242	8	女
9	草刈 壮	江の島ヨットクラブジュニア	3247	6	男
10	服部 輝海	江の島ヨットクラブジュニア	3120	5	男

朝から中々風力が上がりず微風～軽風の予想からレース海面を相模湾E海面から葉山新港の近くでまず第1レースを予定期刻から10分遅れてスタートさせた。トップ艇45分でフィニッシュ、1時間で終了するコースの設定をお心がけた。風の強弱がありまた潮流が強いため、上マークまでの距離を400mと短めにした。トップ艇が第1マークを回航する頃風軸が右の25度ほど振れたので第2マークでコース変更の指示(C旗掲揚、単音連続音響信号)をし第3マークを打ち換え、第23マークから真下にセットした。予定期通りの終了。風力が上がりず、本部船をフィニッシュポート近くに移動し、風待ち後130度の風や210度の風が吹いて来たが風軸が定まらないのでもう少し待つ。また西風270度が吹く始めてなので再度270度でセット。スタートするがトップ艇が第2マークを回る頃から風力が落ち始めたため、全艇フィニッシュさせるため、第2マークで短縮を決め、フィニッシュポートを第2マークに移動させ、短縮し終了。昼食、トイレット時間を考え、また風軸が定まるまでじっくり待ち、210度の風が見え始めたので210度と決めコースセット。オールクリアでスタートしたが風軸が多少右に5度振れ始めたので第2マークで再度コース変更、第2マークから第3マークまで約1000mとし、最終的に5mまで風力が上がり、第2マークから第3マークを回航しフィニッシュまでの距離を合計2000mとしてフィニッシュさせた。風力が上がり傾向だったが最終スタート時刻が過ぎ第4レース目は行えず本部船にAPHを掲揚し終了した。初心者を集めたシルバーレースは第1～第4マークを回ってフィニッシュのコースとしたため風力が無いにも関わらず4レース消化して終了した。



● 第6回 西日本ジュニア・ユース交流セーリング選手権大会

2015年5月5日～6日 佐賀県ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	8	女
2	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	9	男
3	木田拳太郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	9	男
4	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	9	男
5	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	8	男
6	尾道 葵音	B&G時津海洋クラブ	3256	8	女
7	長谷川真大	B&G高松海洋クラブ	3251	8	男
8	大槻多恵美	B&G松山海洋クラブ	3281	7	女
9	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	6	男
10	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	6	男



4日はAクラスはチームレース、Bクラスはトライアルレースを行った。

5～6日はシーズリースが5m/s前後吹き続け、良いコンディションでのレースが出来た。

Aクラス、Bクラスとも予定していたレースが全て消化できた。

同時にユースの大会も開催しており、レース海面の調整が必要だったが特に大きな問題はなかった。



● 2015 OP級浜名湖ジュニアオープンレース

2015年5月10日 三ヶ日町 ビーチスマリーナ沖

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	7	9	男
2	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	8	男
3	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	9	男
4	三浦 凪砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2877	9	女
5	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	7	男
6	バーキンス 花	江の島ヨットクラブジュニア	3125	8	女
7	佐々木マールトン星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
8	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	7	男
9	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	6	男
10	山田 大夢	海陽海洋クラブ	3171	8	男



今年から、うねりがなく陸の景色が360度、見渡せる浜名湖の特長を活かしてBクラス選手の参加拡大・普及を狙い、A・Bクラス別のコース設定をした。その甲斐あって、16クラブ/52名の参加者により大会を実施。またNT選手が10名も出場し、高いクオリティで実施した。大会当日は、晴天に恵まれたものの第1レースから8m/sの風が吹き、Bクラスはレース延期。Aクラスのみで始めた。風はどんどん上がり、第4レースでは13m/s。さすがにこの風を受けて「沈」する選手やDNFも出るなか、事故なく大会を終えることができた。Bクラスは風の弱まった合間に使ったが、6～8m/sの風を受け、リタイア選手も出るなか2レースを実施。閉会式の直前には「フラダンスショー」のサプライズがあり、大会に華が添えられた。なお地元新聞社3社によるレース取材があり、写真付きで大会が報道され、ヨット界の広報・普及もおこなえた。



● 2015年 藤沢チャンピオンレース

2015年5月30日 江の島ヨットハーバーおよび沖海面

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	菅澤 龍佑	江の島ヨットクラブジュニア	3288	8	男
2	服部 陸太	江の島ヨットクラブジュニア	3174	7	男
3	内貴航路朗	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	8	男
4	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	7	9	男
5	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	9	女
6	三浦 風砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	2877	9	女
7	芝田 和尚	江の島ヨットクラブジュニア	3209	6	男
8	桔川翔太郎	江の島ヨットクラブジュニア	3478	7	男
9	大石 駿水	湘南サニーサイドJYC	3255	8	男
10	高山巧太郎	海陽海洋クラブ	3260	7	男



2015年藤沢チャンピオンレースがOPAクラス42艇、OPBクラス16艇、レーザーラジアルクラス3艇、合計61艇の参加で開催されました。この大会は昨年までは「山下杯少年少女ヨット大会」として9回、藤沢市青少年セーリングクラブ最高顧問の山下弘雄さんの誕生日前後におこなわれています。今年は10回目となる節目の大会。大会をグレードアップし「山下杯」の歴代優勝者の名前が刻まれたカップはそのまま引き継がれ藤沢市長からの賞状が優勝者に贈られました。

レースは3~4mの軽風、初夏を思わせるような心地よい南風でOPA、レーザーラジアルが4レース、OPBは5レースおこなわれました。江の島沖A海面がレースエリア。200° 前後の風が終始安定して入り、OPAクラスはボートスピードと綺麗なシフトをうまく捉えたNT選手が上位を独占。優勝は1-3-1-1、カットレースを入れて最少得点3点、抜群の成績で江の島ヨットクラブジュニア・菅澤龍佑選手が優勝しました。OPBクラスは小学4年生の海陽海洋クラブ・岩永燎汰選手が安定したセーリングで優勝。

レーザーラジアルクラスは元全日本OPチャンピオンの高山颯太選手が優勝しました。

● 2015 OP級 関西選手権

2015年5月30日~31日 兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	8	女
2	佐々木M.星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
3	磯辺 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	6	男
4	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	8	男
5	黒田 浩渡	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3025	6	男
6	須田英実子	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3269	8	女
7	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	6	男
8	中川 大成	海陽海洋クラブ	2987	8	男
9	藤原 沙耶	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	2809	6	女
10	鈴木 萌風	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3086	8	女



関西近県だけでなく、東は愛知、西は福岡などから、ABクラス合わせて37名の参加を頂きました。1日目は南西の風4~6m/s、2日目は北の風6~8m/sが安定して吹き、予定通り7レースを実施しました。Aクラスでは、5名のNTが参加しました。さすがNTというべきか、終始上位を走りぬき、他の選手に貫録を見せつけました。Bクラスでは、そろそろAクラスへ昇格しようかという選手から、まだOPを始めて日があさく、今回初レースという選手まで、実力差がかなり開いたレースとなりました。2日目には風速が上がり、沈ずる艇が数艇ありましたが、ケガなく、楽しくレースができました。

● 2015年度 江の島強化合同フリートレース ジュンレガッタ

2015年6月14日 江の島ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	岩永 燐汰	海陽海洋クラブ	308	4	男
2	高橋果乃子	海陽海洋クラブ	2862	6	女
3	中村迅之介	KMC横浜ジュニアヨットクラブ	2981	8	男
4	菅野 韶	夢の島ヨットクラブ	3184	5	男
5	杉浦ふう華	海陽海洋クラブ	3238	5	女
6	吉岡 和月	真野浜セーリングクラブ	3315	5	男
7	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3150	3	男
8	嶋倉 侑司	真野浜セーリングクラブ	3110	4	男
9	村田 奈穂	海陽海洋クラブ	3028	6	女
10	三軒つきの	海陽海洋クラブ	3084	7	女



梅雨の不安定な天候の中、早朝小雨がぱらつきレース中は終始曇り、南寄りの風風軸220～165度、風速3～6mの低中風域のコンディションでした。南からの小さなうねりと波があり、午前中は沖だしの潮の流れもありました。

午前中は風のシフトがあり、2レースまで何度となくマーク位置を変更することになりました。1マークまでの距離は、1レースは600M、2レースは700Mで実施しました。午後より少し風があがり南寄りの風風軸170度を中心に風軸が安定し、1マークまでの距離を900Mとし残り2レース実施し、途中リタイヤする選手もなく予定の4レースを完了することができました。

11月に同じ江の島で開催の全日本OP級セーリング選手権大会を想定し、トラベゾイドコース 3マークゲートを採用しました。2015年度ナショナルチーム代表選手も11名参加し、賑やかな大会になりました。



● 2015年 OPヨット大会 in KATSURAHAMA

2015年7月4日～5日 福津市勝浦浜、勝浦浜海洋スポーツセンター前海面

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	小柳倫太郎	B&G福岡J Y海洋クラブ	3267	9	男
2	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	6	男
3	河野 瑠平	B&G福岡J Y海洋クラブ	3023	7	男
4	夏秋 理美	B&G福岡J Y海洋クラブ	3240	6	女
5	安永 昂生	B&G福岡J Y海洋クラブ	2979	6	男
6	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	6	女
7	豊島 有壯	広島ベイDC	3030	5	男
8	濱田 登羽	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	6	男
9	幸野 翔太	B & G別府海洋クラブ	3325	5	男
10	花田 鑫	光セーリングクラブ	3046	5	女



7月4日午前9時受付開始、午前11時開会式 一谷井宗像市長挨拶。最初は降雨のため状況を見て12時過ぎに雨がやむのを待って13時第1レース開始Aクラスの5分後にBクラススタート、初日は3レース消化して16時40分終了。翌5日は風待ちの後第4レースは9時35分スタート、12時21分第6レースを終了した。14時30分小山福津市長出席で閉会式と表彰を行い、15時終了、解散した。



● 2015 B&G OP級ヨット大会【西日本大会】

2015年7月19日～20日 北浜ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	佐々木 星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
2	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	8	女
3	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	9	男
4	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	6	男
5	豊島 有壯	広島ベイディングクラブ	3030	5	男
6	木田拳太郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	9	男
7	河野 瑠平	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3023	7	男
8	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	6	女
9	北原 頌子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3239	5	女
10	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	6	男

【Bクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	中村 晃	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3158	4	男
2	阿南 影綱	熊本ヨットJr.	2786	5	男
3	石原 千海	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3043	5	男
4	小窪 健斗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2962	5	男
5	吉岡 和月	真野浜セーリングクラブ	3315	5	男
6	松本 琵花	長崎ジュニアヨットクラブ	2825	6	男
7	抜井 咲	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2807	3	女
8	吉村 元	熊本ヨットJr.	2787	6	男
9	福井 創太	熊本ヨットJr.	2789	7	男
10	神鳥 朝凪	B&G別府海洋クラブ	3059	7	女

大会中は4m～8mと風に恵まれ選手も実力を発揮できた良いレースができた。しかしながらBクラスには少し過酷なレースとなり次のステップに向け良い経験になってと思う。レース結果お見てもわかるように、NTチームが実力を発揮したの選手にも刺激とな理、めざす目標ができたように思う。また、Cクラスのレースには始めたばかりや未加入クラブの参加者もいたので今後のOP級の普及にもつながると感じた。できれば来年も継続的に開催していきたいを考えている。

● 2015年度JOCジュニアオリンピックカップ兼JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ

2015年7月25日～26日 和歌山セーリングセンター

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	抜井 理紗	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3115	8	女
2	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	9	男
3	玉山 義規	丸玉セーリングクラブ	3257	9	男
4	村瀬 也海	広島セーリングスクール	3283	9	男
5	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	8	男
6	長谷川真大	B&G高松海洋クラブ	3251	8	男
7	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	9	男
8	鈴木亮太朗	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	7	男
9	佐々木マルトン星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
10	嶋倉 照晃	真野浜セーリングクラブ	3110	6	男

大会は天候に恵まれ、10ノットのシーブリーズの中7レースが行われました。9月に開催される紀の国わかやま国体の運営チームがトラペゾイドコースで行われました。今回は62艇の大きなフリートでのレースでしたが、特に上位陣はレベルの高いレースを行なっていました。初日のレース後は恒例となった選手、コーチ・保護者と共にだいBBQパーティで和歌山の夜を楽しんでいました。



● ODO CUP 2015/第27回 福岡ジュニアヨット選手権大会

2015年7月25日~26日 福岡市ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	9	男
2	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	6	女
3	河野 瑠平	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3023	7	男
4	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	6	男
5	幸野 翔太	B&G別府海洋クラブ	3325	5	男
6	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	6	男
7	夏秋 理美	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3240	6	女
8	大槻多恵美	B&G松山海洋クラブ	3281	7	女
9	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3189	4	男
10	上園田心太浪	B&G別府海洋クラブ	3032	6	男



● 2015 第33回 東日本オプティミスト級セーリング選手権

2015年8月21日~23日 神奈川県 葉山新港および沖海面

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	倉橋 直暉	海陽海洋クラブ	3226	9	男
2	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	6	男
3	蓮 千鶴	江の島ヨットクラブジュニア	3334	9	女
4	中川 大成	海陽海洋クラブ	2987	8	男
5	桐井 航汰	江の島ヨットクラブジュニア	3020	9	男
6	三浦 凪砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニア	2877	9	女
7	バーキンス 花	江の島ヨットクラブジュニア	3125	8	女
8	須河内陽夏	藤沢市青少年セーリングクラブ	3057	7	女
9	谷口 美羽	江東区立小中学校セーリング部	3242	8	女
10	高山巧太郎	海陽海洋クラブ	3260	7	男



今年の東日本はA: 104名、B: 28名の合わせて131名と近年まれにみる多数のエントリーで始まりました。湘南地方のサメ騒動のケアをしつつ、台風の影響で海上には大きなうねりが入る状況でしたが安定した南の風の中順調にレースを実施していくことができました。

初日の懇親会では用意した料理に一斉に殺到したり抽選会では景品めがけて選手がステージに詰めかけてたりと大いに盛り上りました。Aレースは2日目を終えて7レースを消化した時点で2つのディビジョンでそれぞれオールトップが2名いるという好勝負でこのままではシリーズを終えてもタイが解けない可能性がありレース委員会では対応を苦慮していました。迎えた最終日のレースでは北の軽風予想が一転、一時10メートルオーバーの強風となりレース委員会はレスキュー活動に奔走しました。

結果はついに決着がつき海陽の倉橋選手が8レースオールトップ捨てレースもすべて1点という見事な完全勝利を果たしリビエラカップを手中に収めました。

また昨年から始まったBレースは初日3レース実施しましたが2日目はノーレース。一日英気を養ったところでの3日目でしたが強風のため1レースのみの実施となりました。こちらも2-1-1-1とこちらもダントツの成績で藤沢の藤森選手が優勝を手にしました。

今回予想以上に多数のエントリーをいただき来年からもこのペースで参加数が増え続けてくれるとうれしいです。東日本大会は参加クラブ全体で運営をしていく大会ですので引き続き来年もご協力をお願いします。

● 第38回 西日本OP級ヨット選手権大会

2015年8月22日～23日 佐賀県ヨットハーバー

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	小柳倫太郎	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	9	男
2	前田 海陽	広島セーリングスクール	3145	8	男
3	嶋倉 照晃	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3110	6	男
4	北原 頌子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3239	5	女
5	小菅 楓	広島セーリングスクール	3142	7	女
6	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	6	男
7	元尾 帆斗	B&G時津海洋クラブ	3317	6	男
8	佐々木マールトン星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
9	大槻多恵美	B&G松山海洋クラブ	3281	7	女
10	内海 拓馬	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2976	9	男



Aクラス55艇、Bクラス29艇での大会開催となった。3日間ともシーブリーズが4~6m/s吹き予定のレースが消化できた。全日本選手権への出場権をかけた最後のレガッタのため選手、サポートにもいつも以上に気合が入っているようを感じた。

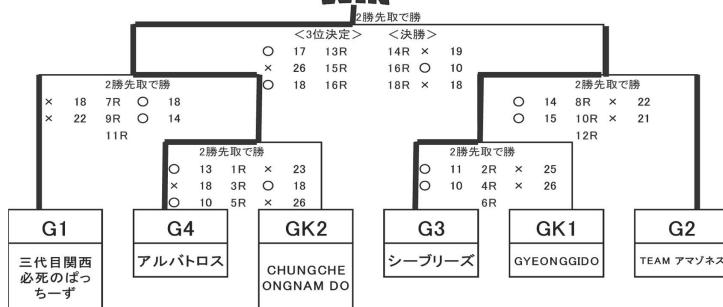


● 第31回 全日本オプティミストチームレース選手権

2015年9月19日～21日 広島観音マリーナ

アルバトロス

WIN



最終成績

優勝	アルバトロス
2位	シーブリーズ
3位	3代目関西必死のばっちーず
4位	TEAM アマゾネス
5位	GYEONGGIDO
6位	CHUNGCHEONGNAM DO
7位	ペンギンブラザーズ
8位	エノレンジャーズ
9位	East Rookies
10位	ウッドペッカ
11位	ブービーバード
12位	NEW COMER

韓国から2チームの参加を含む、合計12チームが参加した。予選ラウンドロビン60レースを行い、決勝トーナメントを行った。選手たちはレースをこなすごとにレースが巧みになり決勝グループは見ごたえのあるレースが行われた。優勝は地元広島SSの「アルバトロス」が優勝した。



2015 選手会員名簿

輝朗翔く士悟桜奈騎郎香心音巧郎央真駿陽響るり星星愛羽織る也幸央門太
太祖太子真二大佑介保一樹陽咲ら郎花津航郎海真ル力喜凜稚心和宙典童斗輝香翔
一優海し泰慧実杏一佑帆真潮翔一 あ皓彩友美奈ち智信真ユエル 果叶賢伶隼迅志嘉春朝千さ涼朋志悠創拓拓力魁優
剛健佑直龍壯武優優海
木谷藤部村川子木口森浦藤野根月森海松松野野本邊邊井口田守木辺山サミ 山岡川田地村岡角 田口鍋川澤林川藤島村山田吹野合谷園保野藤木島島木
笛京工勝田及庄八谷藤三佐杉関望飯内重重菅菅宮渡渡坂谷吉山荒渡梶ディ梅松堀柴道中寺江谷天山若宇柄小古斎中西葉安矢平河中堂新村佐青中中鈴

大朗成太也莉達也成郎一人悟希亞郎水子佳央介樹宇華帆介朗亮子音瑞夏帆人蒼吾郎佑子空芯成顏歩太介吉月輝鳥治空夏良希聰晴歐征奈生斗奈拓奈路日之太_{セイ}太_{タケル}龍太勇誠航_{セイ}弘真凜綺_{リョウ}瀬志健_{セイ}尚幸渥美_{タカヒコ}十笑真景櫻_{タカヒコ}颯悠高飛大_{タカヒコ}陽爽海_{タカヒコ}理真真育海玲_{タカヒコ}祐祐_{タカヒコ}田貴村合中部藤石井橋崎井野保野石崎野山子本原原澤原浦屋藤近田前松崎野岡野後藤中藤田永田水田瀬田田田野田田富内田藤永本口田田本森川本田_{久野伊豫河}園内岡落田阿伊白福大尾松上桜松小大岩桑青金森田田大伊吉古後左上磯富尾淺松桑肥遠田加島須山高伊伊山星山岡吉須岡遠稻增山河和山藤市増和

JODA YEAR BOOK 2015

全日本OP級ヨット選手権大会 歴代チャンピオン 年表

回	西暦	期間	開催地	参加艇	総合			女子			小学生		
					1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1	1969 (S44)	4/1~2	江ノ島	1 4	黒川 徹也 (江ノ島)	須原 洋司 (江ノ島)	橋田 健一 (江ノ島)						
2	1970 (S45)	8/28~29	江ノ島	9 (低学年) 9 (高学年)	生野 裕治 (大分) 斎藤 正毅 (江ノ島)	東田 義尚 (江ノ島) 生野 邦子 (大分)	渡辺由起子 (大分) 木曾 康晴 (江ノ島)						
3	1971 (S46)	8/9~10	江ノ島	1 8	斎藤 正毅 (江ノ島)	小宮 亮 (江ノ島)	青木 智和 (江ノ島)						
4	1972 (S47)	8/17~18	江ノ島	1 8	樺本 敦司 (江ノ島)	小宮 亮 (江ノ島)	青木 智和 (江ノ島)						
5	1973 (S48)	8/16~17	江ノ島	1 6	青木 智和 (江ノ島)	樺本 敦司 (江ノ島)	浜尾太郎 (江ノ島)						
6	1974 (S49)	5/5~6	江ノ島	1 5	青木 智和 (江ノ島)	樺本 敦司 (江ノ島)	浜尾 太郎 (江ノ島)						
7	1975 (S50)	8/2~3	琵琶湖	3 4	西村 祐介 (江ノ島)	ルツルケ (江ノ島)	寺田 全輝 (琵琶湖)						
8	1976 (S51)	7/31~8/1	宮島	6 3	山村 洋之 (和歌山)	寺田 全輝 (琵琶湖)	岡 大 (千葉)						
9	1977 (S52)	8/4~5	函館	4 9	新谷 章 (江ノ島)	石川 一也 (江ノ島)	服部 (島根)						
10	1978 (S53)	8/2~4	諏訪湖	5 3	石川 一也 (江ノ島)	曲田 拓史 (江ノ島)	亀井 功 (隠岐)	山村 千恵 (諏訪湖)	松田 明子 (琵琶湖)	加藤 聰子 (清水)			
11	1979 (S54)	8/11~14	紀伊田辺	5 3	山口 能孝 (神戸)	上野 友和 (南紀)	石川 一也 (江ノ島)						
12	1980 (S55)	12/26~29	佐島	4 3	強風の為中止			強風の為中止			強風の為中止		
13	1981 (S56)	7/26~29	江ノ島	5 9	松田 哲也 (琵琶湖)	高山 卓衛 (江ノ島)	秋田 大介 (琵琶湖)						
14	1982 (S57)	10/9~11	江ノ島	9 4	高山 卓衛 (江ノ島) 厨川 直樹 (葉山)	三輪 牧人 (葉山)	成田 晶彦 (エスピー)				宮本 大介 (葉山)	西之園裕二 (琵琶湖)	大門 雅広 (琵琶湖)
15	1983 (S58)	10/8~10	琵琶湖	8 5	厨川 弘樹 (葉山)	三輪 牧人 (葉山)	大門 雅広 (琵琶湖)	厚木 文 (エスピー)	熊谷 直美 (エスピー)	山田祐規子 (琵琶湖)	宮本 大介 (葉山)	浅井 紀博 (清水)	刑部 知周 (石川)
16	1984 (S59)	11/23~25	佐島	6 9	三輪 牧人 (エスピー)	池田 新 (エスピー)	吉岡 卓 (琵琶湖)	静間 敦子 (葉山)	山田祐規子 (琵琶湖)	山元けやき (琵琶湖)	阪間 俊文 (江ノ島)	古市 英貴 (エスピー)	厚木 基 (エスピー)
17	1985 (S60)	11/2~4	江ノ島	7 1	岩波 将輝 (横浜市民)	大門 雅広 (琵琶湖)	阪間 俊文 (江ノ島 Jr)	静間 敦子 (葉山)	山下 美香 (横浜)	谷本香菜子 (松島)	今野 巧 (葉山)	山下 美香 (横浜)	釜池 恒平 (宇和島)
18	1986 (S61)	10/31~11/3	和歌山	7 2	宮本 大介 (葉山)	釜池 恒平 (宇和島)	阪間 俊文 (江ノ島)	山下 美香 (横浜)	持丸由紀子 (葉山)	青山 久恵 (エスピー)	釜池 恒平 (宇和島)	川上賢一郎 (エスピー)	山下うらら (横浜)
19	1987 (S62)	10/31~11/3	賀茂村	7 0	松永 卓也 (琵琶湖)	阪間 俊文 (江ノ島)	山下 美香 (横浜)	山下 美香 (横浜)	山田あずさ (横浜)	吉岡 朋子 (琵琶湖)	釜池 恒平 (宇和島)	藤井 洋暢 (横浜)	多賀康太郎 (琵琶湖)
20	1988 (S63)	9/23~27	横浜	7 6	戸田 茂樹 (千葉)	松本 健司 (横浜市民)	中村 和男 (横浜市民)	山下 美香 (横浜)	山下 麗 (横浜)	山田 真弓 (横浜市民)	松本 健司 (横浜市民)	岩波 俊光 (葉山)	関 康治 (横浜)
21	1989 (H 1)	11/23~26	江ノ島	8 1	関 康治 (横浜)	山田 基善 (琵琶湖)	松本 健司 (横浜市民)	山下 麗 (横浜)	菅谷 泰子 (中央区)	松浦 宏美 (清水)	西谷拓造 (江ノ島)	永山 桃子 (横浜)	松永 鉄也 (琵琶湖)
22	1990 (H 2)	10/10~12	琵琶湖	1 0 2	関 一人 (千葉)	中村 公紀 (琵琶湖)	松本 健司 (横浜市民)	永山 桃子 (横浜)	山田 真弓 (横浜)	望月 貞代 (清水)	松永 鉄也 (琵琶湖)	渡辺 哲雄 (夢の島)	荒川 海彦 (名古屋)
23	1991 (H 3)	11/1~4	シホーニア	1 0 0	山下 麗 (横浜)	佐藤 隆博 (江ノ島)	松本 健司 (横浜市民)	山下 麗 (横浜)	安岡 千夏 (江ノ島)	山田 真弓 (横浜市民)	松永 鉄也 (琵琶湖)	田窪 洋人 (江ノ島)	佐渡 忠俊 (t s s)

JODA YEAR BOOK 2015

回	西暦	期間	開催地	参加艇	総合			女子			小学生		
					1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
24	1992 (H 4)	10/31~11/3	宮島	102	松永 鉄也 (琵琶湖)	荒川 海彦 (なごや)	渡辺 哲雄 (夢の島)	仲野 照美 (琵琶湖)	永山 桃子 (横浜)	三部 ゆうき (江ノ島)	三部 ゆうき (江ノ島)	田村 勇太 (t ss)	辻 宏樹 (鳥取)
25	1993 (H 5)	10/31~11/3	御前崎	107	渡辺 哲雄 (夢の島)	荒川 海彦 (なごや)	松永 鉄也 (琵琶湖)	三部 ゆうき (江ノ島)	羽田 梨絵 (江ノ島)	近藤 愛 (葉山)	斎藤 祐介 (t ss)	佐渡 忠洋 (t ss)	水谷 謙太 (名古屋)
26	1994 (H 6)	11/3~6	横須賀	137	三部 ゆうき (江ノ島)	田窪 洋人 (江ノ島)	松永 鉄也 (琵琶湖)	三部 ゆうき (江ノ島)	鈴木恵美子 (江ノ島)	吉迫 由香 (t ss)	内田 謙 (横浜市民)	佐渡 忠洋 (t ss)	萩原 潤 (伊東)
27	1995 (H 7)	11/3~5	シーポニア	139	内田 謙 (横浜市民)	中田 俊輔 (横浜市民)	中川 剛 (琵琶湖)	久留原千尋 (琵琶湖)	岡田 風美 (葉山)	山田 梢 (横浜市民)	今井 信行 (琵琶湖)	7月1.アソニー (江ノ島)	田中 俊介 (琵琶湖)
28	1996 (H 8)	11/1~4	蒲郡	135	斎藤 祐介 (t ss)	神谷 航路 (中央区)	佐渡 忠洋 (t ss)	近藤 詩織 (葉山BAJR)	平井 敦子 (江ノ島)	高橋 礼子 (ビーチ)	神谷 航路 (中央区)	今井 信行 (琵琶湖)	田中 俊介 (琵琶湖)
29	1997 (H 9)	10/31~11/3	浜名湖	140	神谷 航路 (中央区)	高橋 礼子 (ビーチ)	内田 謙 (横浜市民)	高橋 礼子 (ビーチ)	平井 敦子 (江ノ島)	白井 敦子 (ビーチ)	神谷 航路 (中央区)	野中 祐樹 (江ノ島)	西村 真洋 (琵琶湖)
30	1998 (H10)	10/31~11/3	琵琶湖	139	神谷 航路 (中央区)	今井 信行 (琵琶湖)	西村 真洋 (琵琶湖)	田畠和歌子 (兵庫県ヨット)	高橋 礼子 (ビーチ)	疋田菜穂子 (琵琶湖)	近藤 康史 (葉山BAJR)	植田 順大 (ビーチ)	豊田 翔平 (兵庫県ヨット)
31	1999 (H11)	10/30~11/2	江ノ島	140	神谷 航路 (中央区)	平井 敦子 (江ノ島)	鈴木 美帆 (江ノ島)	平井 敦子 (江ノ島)	鈴木 美帆 (江ノ島)	池本 碧 (江ノ島)	小宮 航 (江ノ島)	飯束潮吹 (江ノ島)	木内 蓉子 (江ノ島)
32	2000 (H12)	11/9~11/12	江ノ島	140	神谷 航路 (中央区)	木内 蓟子 (江ノ島)	樋口 譲 (横浜市民)	木内 蓟子 (江ノ島)	鈴木 美帆 (江ノ島)	池本 碧 (江ノ島)	川添 正浩 (江ノ島)	小栗 拓也 (ビーチ)	横田 敏一 (江ノ島)
33	2001 (H13)	11/2~11/5	和歌山	138	平井 恵子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	木内 蓟子 (江の島)	平井 恵子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	木内 蓟子 (江の島)	小宮 航 (江の島)	曾和 慎也 (琵琶湖)	横田 敏一 (江の島)
34	2002 (H14)	11/1~11/4	蒲郡	141 (韓国5)	小宮 航 (江の島)	河合龍太郎 (静岡県連)	飯束潮吹 (江ノ島)	木内 蓟子 (江ノ島)	豊田 晃子 (別府)	斎藤 梨菜 (広島)	石原 帆高 (江の島)	磯崎 友也 (茨城)	鈴木明日美 (KMC横浜)
35	2003 (H15)	10/23~26	福岡	139 (韓国5)	石原 帆高 (江の島)	川添 正浩 (江ノ島)	小宮 航 (江の島)	後藤 沙季 (別府)	松下 結 (長崎)	山田 舞波 (別府)	熊川 均 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	田中 航輝 (兵庫)
36	2004 (H16)	10/31~11/3	江の島	140	熊川 均 (江の島)	埼玉匠海 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	後藤沙季 (別府)	松下 結 (長崎)	埼玉匠海 (江の島)	吉永紀仁 (玄海)	田中 航輝 (兵庫)
37	2005 (H17)	11/3~11/6	名取	136	小宮 悠 (江の島)	大日向喜咲 (横浜)	若林知世 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	大日向喜咲 (横浜)	若林知世 (江の島)	大日向喜咲 (横浜)	若林知世 (江の島)	石原漁人 (江の島)
38	2006 (H18)	11/2~11/5	広島	140	小宮 悠 (江の島)	埼玉匠海 (江の島)	熊川 均 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	長堀友香 (中央区)	高橋友海 (江の島)	森山慎太郎 (光)	渡部雄貴 (松山)	石原漁人 (江の島)
39	2007 (H19)	11/1~11/4	別府	146 (韓国6)	脇坂 尊 (江の島)	若林知世 (江の島)	土居愛実 (江の島)	若林知世 (江の島)	土居愛実 (横浜)	新谷つむぎ (江の島)	岡田奎樹 (福岡)	深沢瑛里 (江の島)	佐藤宏樹 (江の島)
40	2008 (H20)	10/31~11/2	蒲郡	142 (韓国2)	若林知世 (江の島)	岡田奎樹 (福岡)	脇坂 尊 (江の島)	若林知世 (江の島)	市川夏未 (夢の島)	新谷つむぎ (江の島)	埼玉成海 (江の島)	岸 裕花 (江の島)	横山南泉 (江の島)
41	2009 (H21)	10/31~11/3	江の島	145 (香港5)	山本 一徹 (広島)	岡田圭樹 (福岡)	樋口 鮎 (横浜市民)	市川夏未 (夢の島)	新谷つむぎ (江の島)	深沢瑛里 (江の島)	田中美紗樹 (兵庫)	埼玉成海 (江の島)	高宮 豪太 (江の島)
42	2010 (H22)	11/4~11/7	光	142 (SUI1,NZL1)	高宮豪太 (江ノ島)	高山大智 (B&G別府)	菅野 翔 (かながわ)	岸 祐花 (湘南)	有山 夏子 (江の島)	川戸紅葉 (夢の島)	松尾虎太郎 (広島)	高山颯太 (KMC横浜)	小村凜平 (玄海)
43	2011 (H23)	8/20~23	唐津	141 (NZL1)	高竹義樹 (広島SS)	榎原健人 (藤沢市)	田中美紗樹 (B&G兵庫)	田中美紗樹 (B&G兵庫)	藤本優 (江の島)	須河内茉里 (藤沢市)	神谷仁 (浜名湖)	小木曾涼 (江の島)	尾道佳諭 (B&G時津)
44	2012 (H24)	8/23~26	葉山	140	高山颯太 (KMC横浜)	田中美紗樹 (B&G兵庫)	高宮豪太 (江の島)	田中美紗樹 (B&G兵庫)	辻アンナ (中央区)	宇田川真乃 (横浜)	花田義弘 (光)	桐井航汰 (江の島)	玉山義規 (丸玉)
45	2013 (H25)	11/1~4	蒲郡	141 (韓国2)	小木曾涼 (江ノ島)	尾道佳諭 (B&G時津)	玉山義規 (丸玉)	辻アンナ (中央区)	宇田川真乃 (横浜)	中村瑠夏 (横浜)	内貴航路朗 (横浜市民)	前田海陽 (広島)	佐々木マリ(准和) (B&G兵庫)
46	2014 (H26)	11/1~3	広島	140	倉橋直暉 (海陽)	内貴航路朗 (横浜市民)	前田海陽 (広島)	抜井理紗 (B&G兵庫)	三浦凪砂 (浜名湖)	藤本 諒 (江の島)	服部陸太 (江の島)	須河内陽夏 (藤沢市)	池田海人 (江の島)

* 第14回大会より世界選手権大会の1次予選を兼ねる

* 第15回大会より女子、小学生の部にカップが出来る



Quality products !

Performance Sailcraft Japan

パフォーマンスセイルクラフトジャパン(株)
〒252-1114 神奈川県綾瀬市上土棚南3-13-31
TEL 0467-76-1051 FAX 0467-76-1052



PL3 P4 P5 P6 P4-R4

ノースセールは未来のオリンピックセーラーを応援しています。
ともにオリンピックの表彰台を目指しましょう！

Winning in the World

NORTH SAILS JAPAN

YOKOHAMA LOFT TEL:045-770-5666
KANSAI LOFT TEL:0798-26-7771
<http://www.jp.northsails.com/>
info@jp.northsails.com

ヨットを運ぶ際「何を決め手に運送会社を選んだらよいかわからない」こんなセイラーの声のもと〈ジャストヨット運送〉をスタートしました。わたしたちのお仕事は、単に「ヨットを運ぶこと」だけではありません。ヨット運搬に携わりながら、セーリングの素晴らしさを多くの仲間に伝えていくことこそ、大切な役割であると考えています。

『日本のヨット界を盛り上げていきたい』

これが、わたしたちの合言葉です。



ヨットの運搬はヨット大好き人間に任せよう！

ジャストヨット運送

www.yacht-hakobuyo.com

みんなの一生懸命を応援しています。

～ヤシママリンサービス～

yashimA
Marine-Service



ヤシママリンサービス

URL : <http://yashima-marine.jp/>
e-mail : info@yashima-marine.jp

TEL 082-254-5137/FAX 082-252-2185
〒734-0003 広島市南区宇品東 6-7-78
(イオン宇品ショッピングセンター・南税務署ソバ)